

1. リズム・メスメリズム

詞：monado 曲：kihirohito

青い瞳の黒い影 視線を向けたその先に
見えることなく現れる 夢遊病者の伝道師
動物磁気の原理に基づいて 睡りをあつらえる

魔の眼に魅せられた 流体を誘うアルモニカの音が
神への祈りを反駁スル
肉体のクリティシズムに抗ってなお
夢の言葉を述べようとするのか

リズム・メスメリズム 果てなき星辰の運行に
リズム・メスメリズム 革命前夜のユートピア
やがて舞踏病の隊列を指揮する
ペテン師のファン・ド・シエクル

人間八露ノ如シ
ことわり 理 八癒シノ道
来ル者八行ク獣ノ道
癒セ
幸イヲ以テ
癒セ
禍イヲ交エテ

ほのお 焰 ゆらめく しょうく かげ 燭の翳 規則正しく息を巻く
夢魔のいななきに応えては らんぼすいほ びやくやこう 乱歩酔歩の白夜行
メランコリアの徴しの下にある 面影を操る

エーテルを通して 伝達される隠れた情念が
世界の歴史を論駁スル
心性のアトモスフィアにとり憑かれても
分利作用を探ろうとするのか

リズム・メンタリズム しゅうね 執念き精神の運動に
リズム・メンタリズム 継がれる心の気象學
不気味なるものが無意識に満ちる
いぼう 異貌のファン・ド・シエクル

癒セ！癒セ！癒セ！癒セ！

2. 胡乱憑き道士、壊下に遊ぶ

詞 : namak 曲 : kihirohito

もの ゆうべ よみ ふみ に つの
魔が夜に嘉する史は 丹ぬりの角にかけられて
まこと かなうた しる あ けみ と くちぐるま
真なる哉歌い誌せと 或る閑す徒の口車
すべ ふさき うそ や おとせ しゅごん ひもと しん
斉て諧けた有相八百年を 呪禁で繻き識すれば
さみだ ふ ごちゆう てん な こおに つな ひ
詐乱れ降らす胡中の天に 成れる小鬼が維を曳く
ほし やから たつ とな まが ごと
星の賊が辰に訣える凶つ言
きようしん みみ ろう よま ごと
共震すれば耳を弄する輿舞い事

ばげんせ よ しそく きんせきの ごんろん
罵言競る世に四束をひさぎ 金石服みて混論し
さんじえ ま かばね うんかく ほうらい
譎辞得る間に屍をほどき 雲霞啖らいて崩礼す
あだ しんく なんぼうか ゆんで みち たまな
他し深紅の南法駆りて 左手の道に珠擲げる
すいれん お かりん と ゆうづつむ げ かげぼうし
水簾と落ち火輪と飛びて 幽通無現の影法師
つき うから よみ どうめ あ ばんご
月の族が冥に轟く亞の蕃語
きようめい いにしえしやう か ちんご
響鳴すれば古生ず化の鎮護

かんじゃく しゅんみん しろ ことく おう ひけん き
閑寂なるは春眠の城 孤独な王の秘鍵提げ
じゅんぷう みみ きわ ほつ さら くだ ひやくにそう ろう
順風の耳を窮めんと欲し 更に下る百二層の牢

3. Thee Qabbalah ov Love

詞・曲：kihirohito

髑髏の丘に咲く受難の花 揺れ動く緋の影
断頭台軋む 転げ落ちた果実
遮蔽された記憶 唯此の身は巴比倫バビロンに囚われ
手を伸ばせば其処に 不可視の神殿が

嘆きの呼び声は 地上に赤き慈雨を齎す
数秘に覆われた黙示に 浮かび上がる千年王国よ

刑場の風に塵埃が舞う 詠唱される虚無を讃う頌歌

天空から零の天使 酸鼻の歌 QABBALAH OV LOVE
逆さ吊りの人体解剖図アナトミア 火に焼かれる TREE OV EVIL

銅貨コインの裏に流刑を受ける 今夜肉の滴りの奴隷に

柘榴の園に舞う二羽つがいの蝶 逝く愛の幻影まぼろし
墓碑銘書き刻む 喪われた言葉ロゴス
碧く眩む宝珠に封じたのは 莉莉絲リリスの微笑
表象アイコンを読み解けば 不可避の煉獄が

輝く球体が頭上で 凶き旋律奏しらべでる
救世主メシア召喚の企てに 織り込まれた最終戦争よ

祭壇を埋める人体の塊 溢れ出す神託機械コアダンプの吐瀉物

故なき死と愛の宴 恩寵乞う QABBALAH OV LOVE
深き慈悲の反作用は血で贖う RISE OV EVIL

野犬の群れは解き放たれた 今夜硝子玉に無残を映す

主なき古城 臓器を喪いし肉体
堅き皮膜を喰い破りて孵る子等よ
此の地に奇蹟を

月面より来たる葡萄状の怪 鳥瞰している 聖セイント・カタストロフ 惨 禍 祭

ATHAH GABOR LEOLAM ADNAI
SHEMAMEPHORASH ALEPH TAV
QABBALAH OV LOVE

高みで鐘が打ち鳴らされた 今夜降り注ぐ愛に包まれる